

ほけんだより

平成29年8月4日
日比崎中学校
保健室 NO.5.

生徒の感想文

<1年生 男子>

僕は最初おしゃれなんてしても服装ぐらいだし、そんなに関係ないなと思っていましたが、これから大人になるに連れて、もっとおしゃれについて興味もわいてくると思うので、今日の話はずっと覚えておきたいです。また、周りの人が危険そうだなと思った時は注意をあげたり、やめた方がいいんじゃないの？と声をかけられるようにしたいです。自分の肌・足・目・耳などは、生きて行くなかでとても大切で、一生使う所なので大切にしながら、ある程度のおしゃれと折り合いをつけながら生きていけたらと思います。

<1年生 女子>

私は「おしゃれ障害」の話を聞くまで、おしゃれをそんなに重く考えていませんでした。私も小学校4・5年生から眼にこだわるようになりました。リップクリームならよくするけど、まだお化粧品はしたことはありません。アクセサリーなどは付けたりします。おしゃれでこんなにも体を傷つけることを知って驚きました。お化粧品をする前におしゃれ障害のことを知って良かったです。私もお化粧品は、高校を卒業してからしたいと思いました。靴を選ぶ時も、自分の足に合っているかしっかりと見て買う事が大切だと感じました。おしゃれ障害が聞けて本当に良かったです。

<1年生 女子>

おしゃれをすると、自分の体や目に傷がついたり、腫れたり、病気になることがあるので、思春期の「今」はあまりおしゃれをしすぎないようにすることが大事だと分かった。だから、大人になったらおしゃれをしたいです。自分の体に合わないものは、皮膚が腫れたりするので、その「サイン」が出たら止めることが大切だと分かった。自分の足に合わない靴やピンヒールやつま先がとがっている靴をはいたりすると、足の骨の形が変形することがあるので、自分の足に合った履きやすい靴にすることが必要。今の自分を見直すことが必要だと分かった。

<1年生 男子>

僕は、ピアスを見て「カッコいいなあ」と思ったことがありますが、今日の話を聞いて、「あんな耳になりたくないなあ」と思いました。もちろんカラコンや髪を染めることもしません。あんな風になりたくないから。しかし、町へ行くとマニキュアや髪を染めてる人やピアスをしている人を見かけます。その人達は、今日教えてもらったおしゃれ障害の事を知っているのでしょうか？僕も偉そうなことは言えませんが、知り合いや友達や家族の人に、おしゃれ障害の事を教えてあげようと思いました。

<1年生 男子>

今日の保健指導で、おしゃれをすることはとても危険なことなんだと改めて感じました。今までカラーコンタクトレンズをすると病気になるという事しか知らなかった。ネックレスやピアスなどでも炎症や病気になったり、自分の足に合わない靴をはくだけで足の骨が変形したりするなど、おしゃれには私が思っているよりもずっと危険が多いと思った。それから、子どもは大人よりも皮膚が弱いという事も教えてもらったので、自分の皮膚を守るためにも、高校を卒業するまでおしゃれを控えようと思った。

テーマ「おしゃれ障害」

1年生に7月7日(金)
保健指導を行いました。

「どうして大人はよくて、子どもはだめなの？」よく聞く言葉です。誰もがおしゃれに興味・関心を持ち、おしゃれを楽しんでいます。しかし、お化粧の低年齢化傾向が進む中で、大きな問題となっているのが「おしゃれ障害」です。この問題は子どもだけではなく、大人にも影響を及ぼしています。生涯健康でおしゃれを楽しめるように、まずはその危険性について学習をしました。

成長期のひふ

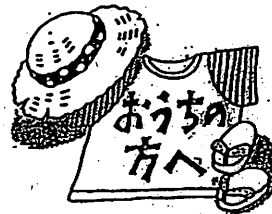
成長期のひふは大人のひふと違って、いろいろなものをどんどんと体内へ吸収・蓄積して、様々な病気のもととなる可能性が高い。

- 化学物質で作られた化粧品・染毛剤・脱色剤・マニキュアなど
- 金属アレルギーを引き起こす可能性が大きい。
- 一度かぶれを起こしたものに触れると再びかぶれてしまう。



見た目が良かったらいいの？

友だちがあるからあるの？



自分の体を

傷つけておさる必要があるの？

「おしゃれ」って何？

自分を大切に
しましょう！

今がきいひで楽しかったらいいの？

1. 成長期のおしゃれはからだに危険性が大きい。
2. 成長期のおしゃれは将来にも影響する。
3. 体を傷つけてまでおしゃれをしない。

- ・正しい知識を持った上で、おしゃれについて考えましょう。
- ・年齢に合ったおしゃれを考えましょう。
- ・心の成長が大切です。